

山形大学の機能強化に向けて

山形大学は、学生の教育や地域及び国際社会に貢献し発展していくために、その機能強化に向けて常に目標を設定し、不断の自己改革を進めています。

> 「結城プラン」から“Annual Plan”へ

平成20年から、山形大学が「何よりも学生を大切にして、学生が主役となる大学創りをする」ために取り組むべき課題と目標をとりまとめた「結城プラン」を策定し、取り組みを進めてまいりました。結城前学長の任期中で最後となる「結城プラン2013」では、掲げた72の課題のうち59項目が達成されました。

平成26年4月1日付で結城前学長からバトンを引き継いだ小山学長は「学生目線による大学創り」「調和のとれた大学創り」「存在感のある大学創り」を基本方針として新たに“Annual Plan 2014”を作成、71項目の課題と達成目標を掲げ、実現に取り組んでいます。

本学の今後の主要課題は、学生教育を重視した大学運営をさらに進めることであり、本学の長期ビジョンとしての「山形大学の将来構想」を踏まえ、基盤教育の内容を絶えず評価・検証しその充実を図るなど、教育に重点を置いた取り組みを行っていくとともに、YU-COEの発展、これらに引き続く有望な研究分野の発掘・育成や地域社会及び国際社会との連携の強化等についても、推進してまいります。

